

2020/2/20

日本発達心理学会 第31回大会開催に関する緊急措置について

日本発達心理学会
代表理事 氏家達夫
日本発達心理学会第31回大会委員会
副委員長 内山伊知郎

新型コロナウイルスの猖獗は終息のきざしが見えず、各地で心配が続いています。日本発達心理学会 第31回大会を開催する会場（大阪国際会議場）のある大阪府は、主催する公的イベントを当面1カ月間は原則中止とする一方、府立学校の卒業式は認め、延期や中止が難しいイベントについては、個別に判断するという方針を知事が2月18日に示しました。大阪市も同様の動きを行う上、府下の市町村には同様の措置を取るよう要請を行うとのことです。大阪国際会議場は大阪市北区に位置し、大阪府立の建造物です。今回の大阪府/市が行う措置の対象には含まれておりませんが、この状況を鑑みますと開催が危ぶまれる状態です。

そこで現時点（2020年2月20日）で厚生労働省から発表された「イベントの開催に関する国民の皆様へのメッセージ」に基づき、本大会開催に向けて以下のように考えました。

1. 授賞式／懇親会の中止（3月3日 18:15-20:30）
2. 会務報告会の中止（3月3日 17:30-18:00）
3. 会場における消毒薬の設置

加えて、個別対応の必要性に鑑み、体調不良等のため出席を辞退したい発表者については、後日掲示する所定の手続きにより、出席しなくても発表が成立するようにいたしたいと考えています。ポスター発表については、出席辞退通知だけで結構ですが、シンポジウムとラウンドテーブルについては関係者でご相談の上、最善の方法をお取りください。具体的な手続きについては、近日中に改めてホームページに記載いたしますので、今少しお待ちください。

なお、出席されない場合も、既に払い込まれた諸経費については原則として一切ご返金できないことをご了解くださいますようお願い申し上げます。

ちなみに、2011年の発達心理学会第22回大会は、3月25日～27日の東京学芸大学開催が決まっていたが、2週間前の3月11日の東日本大震災の甚大な影響により、会場には集まらないが大会は成立（発表は有効）とし、既に払い込まれていたお金は準備にかかった諸経費を差し引いて災害義捐金として寄付するという措置をとった前例があります。

皆様におかれましてはご心配とご迷惑をおかけいたしますが、諸般の事情をご賢察の上、第31回大会の開催に向けてご理解とご協力をお願いできますと幸いです。よろしくお願ひ申し上げます。

(参考)

厚生労働省

新型コロナウイルス感染症について

イベントの開催に関する国民の皆様へのメッセージ

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/newpage_00002.html